令和７年度　野田市関宿総合公園及び野田市営関宿少年野球場
指定管理者管理運営状況調書

担当課　スポーツ推進課

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	B	B	

総合所見

令和８年１月９日にスポーツ推進課長補佐及び担当者が訪問し、指定管理者と打合せを行った。結果は以下のとおりである。

全体を通して、仕様書及び令和７年度業務計画書の内容をおおむね満たしており、適正に管理されていることを確認した。

指定管理者の自己評価については、評価項目がすべてＢとなっており、担当課の評価としても、昨年度と同水準の取組内容であったため、同様に評価項目すべてをＢと評価した。

公契約条例に基づく最低賃金の確保については、指定管理者から提出された、労働者支払賃金報告書により、いずれの職種も市長が定める最低額以上を支払っていることを確認した。

人員配置について、妥当なものとなっており、仕様書、計画書に基づき適正に管理運営されていることを確認した。なお、職員 14 名中 13 名が野田市在住者であることを確認している。

施設の破損及び修繕等の実施状況については、不具合が発生した際には、その都度必要な対応をしている。なお、指定管理者の裁量だけでは解決できない案件につ

いては、市による現地確認を行い、協議の上、対応を適宜検討している。
　収支状況については、支出面では、水道光熱費、燃料費（空調用灯油）において価格高騰や稼働率の上昇等により、業務計画より増額の見込みである。
　指定管理者及び施設の課題について、施設の課題として、全体的に老朽化が進んでおり、年々、修繕箇所が増加傾向にあることが挙げられる。限られた修繕料でより効果的に修繕を実施していくために、優先順位をつけて実施していく。また、指定管理者で修繕可能なことは実施し、修繕費用の縮減に努めることを念頭において、今後の業務計画に生かしていく。
　総括として、施設の管理運営状況は妥当なものとなっており、仕様書に基づき適正に行われていると評価する。